

# 大和市 介護保険事業 地域比較結果

令和3年度実施分

大和市における人口等データの経年変化の分析

神奈川県内近隣市および人口規模・人口密度に近い市との比較分析

大和市 健康福祉部 介護保険課

# 比較対象

- 近隣市

厚木市、海老名市、座間市、綾瀬市、伊勢原市、  
藤沢市、茅ヶ崎市、小田原市

- 同規模市(人口規模・人口密度の近い市)

草加市、府中市、小平市、習志野市、東村山市

# 大和市の高齢者人口等

各年10月1日時点

年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
総人口(人)	236,487	237,142	238,743	240,523	242,534
40歳～64歳(人)	83,264	84,011	85,016	85,926	86,930
高齢者数(人)	55,356	56,096	56,695	57,494	57,932
高齢化率(%)	23.4%	23.7%	23.7%	23.9%	23.9%
前期高齢者数(人)	29,759	28,855	28,018	27,972	27,962
後期高齢者数(人)	25,597	27,241	28,677	29,522	29,970
うち75～84歳(人)	19,492	20,699	21,651	21,923	21,744
うち85歳以上(人)	6,105	6,542	7,026	7,599	8,226
前期高齢者(%)	53.8%	51.4%	49.4%	48.7%	48.3%
後期高齢者(%)	46.2%	48.6%	50.6%	51.3%	51.7%
75～84歳(%)	35.2%	36.9%	38.2%	38.1%	37.5%
85歳以上(%)	11.0%	11.7%	12.4%	13.2%	14.2%

大和市の高齢化率は年々上昇しており、令和3年は23.9%となっている。  
 近年、後期高齢者数が急増してきており(H29年→R3年: +4,373人、17.1%増)  
 令和元年度には、前期高齢者数と後期高齢者数の数が逆転している。

# 大和市の認定者数・認定率

各年10月1日時点

年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
1号被保険者認定者数(人)	9,137	9,605	9,889	10,025	10,387
前期認定者数(人)	1,417	1,421	1,365	1,374	1,413
後期認定者数(人)	7,720	8,184	8,524	8,651	8,974
うち75～84歳認定者数(人)	3,917	4,147	4,234	4,187	4,132
うち85歳以上認定者数(人)	3,803	4,037	4,290	4,464	4,842
2号被保険者認定者数(人)	300	296	301	300	322
認定者数(人)	9,437	9,901	10,190	10,325	10,709
1号被保険者認定率(%)	16.5%	17.1%	17.4%	17.4%	17.9%
前期認定率(%)	4.8%	4.9%	4.9%	4.9%	5.1%
後期認定率(%)	30.2%	30.0%	29.7%	29.3%	29.9%
75～84歳認定率(%)	20.1%	20.0%	19.6%	19.1%	19.0%
85歳以上認定率(%)	62.3%	61.7%	61.1%	58.7%	58.9%

大和市の認定者数、認定率は上昇している。

特に後期認定者数の増加が著しい。(H29⇒R3 1,254人 16.2%増)

# 大和市の調整済み認定率

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年度
調整済み認定率(要支援1)(%)	2.1	2.2	2.4	2.2	2.2
調整済み認定率(要支援2)(%)	2.7	2.7	2.8	2.7	2.7
調整済み認定率(要介護1)(%)	3.9	4.1	4.2	4.0	4.3
調整済み認定率(要介護2)(%)	3.6	3.7	3.5	3.7	3.7
調整済み認定率(要介護3)(%)	2.4	2.4	2.5	2.6	2.6
調整済み認定率(要介護4)(%)	2.3	2.3	2.4	2.4	2.5
調整済み認定率(要介護5)(%)	1.8	1.8	1.8	1.7	1.6
合計調整済み認定率(%)	18.9	19.2	19.6	19.4	19.5

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和2年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

大和市の調整済み認定率※は、要介護1～4が増加傾向にある。

※調整済み認定率: 認定率の大小に大きな影響を及ぼす第1号被保険者の性別や年齢別人口構成の影響を除外した認定率

※認定率: 65歳以上の各介護度の認定者数/65歳以上の被保険者数

# 大和市の調整済み新規認定者分布と 調整済み新規認定平均要介護度

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
要支援1 (%)	17.1	20.5	17.3	20.8	18.6
要支援2 (%)	19.2	17.6	18.4	19.4	16.5
要介護1 (%)	25.3	26.6	28.3	25.0	27.8
要介護2 (%)	16.7	13.9	15.6	13.8	14.0
要介護3 (%)	7.8	7.7	7.5	6.8	8.4
要介護4 (%)	7.9	8.4	7.7	6.9	8.3
要介護5 (%)	6.0	5.4	5.3	7.3	6.3
調整済み新規認定者の 平均要介護度 ※	1.6	1.5	1.5	1.5	1.6

※平均要介護度は介護度を次の係数に変換し計算

介護度	係数
要支援1	0.375
要支援2	0.375
要介護1	1
要介護2	2
要介護3	3
要介護4	4
要介護5	5

(出典) 厚生労働省「介護保険総合データベース」(平成31年4月10日時点データにて集計) および厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和元年、2年度のみ「介護保険事業状況報告」月報) および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

大和市の調整済み新規認定者分布は、令和元年⇒令和2年で要支援の割合が下がっている。

(要支援1: 2.2ポイント減、要支援2: 2.9ポイント減)

一方で要介護1～4の割合が増加している。

調整済み新規認定者の平均要介護度は、令和2年に上がっている。

⇒新型コロナウイルス感染症の流行により、軽度の方の申請控えが起きていた可能性が考えられる。

※調整済み新規認定者: 認定率の大小に大きな影響を及ぼす第1号被保険者の性別や年齢別人口構成の影響を除外した新規認定者数

# 人口・高齢化率の比較

	平成27年 人口	平成27年 高齢者数	平成27年 高齢化率	平成27年 前期高齢者数	平成27年 後期高齢者数	平成27年 前期割合	平成27年 後期割合	65-69歳	70-74歳	75-80歳	80-84歳	85-90歳	90歳-
大和市	232,922	53,184	22.8%	30,472	22,712	57.3%	42.7%	30.4%	26.9%	19.7%	12.4%	6.9%	3.8%
厚木市	225,714	51,432	22.8%	30,932	20,500	60.1%	39.9%	33.6%	26.6%	18.4%	11.6%	6.4%	3.5%
座間市	128,737	30,216	23.5%	17,568	12,648	58.1%	41.9%	31.6%	26.6%	20.1%	12.3%	6.0%	3.5%
海老名市	130,190	30,218	23.2%	17,742	12,476	58.7%	41.3%	32.0%	26.7%	19.6%	11.9%	6.4%	3.4%
綾瀬市	84,460	21,593	25.6%	12,970	8,623	60.1%	39.9%	31.4%	28.6%	20.2%	11.3%	5.5%	3.0%
伊勢原市	101,514	24,405	24.0%	13,846	10,559	56.7%	43.3%	30.8%	25.9%	19.1%	12.5%	7.3%	4.4%
藤沢市	423,894	99,195	23.4%	53,790	45,405	54.2%	45.8%	29.4%	24.8%	19.4%	13.8%	8.1%	4.5%
茅ヶ崎市	239,348	59,592	24.9%	32,021	27,571	53.7%	46.3%	28.9%	24.8%	19.9%	14.0%	8.0%	4.4%
小田原市	194,086	53,689	27.7%	28,188	25,501	52.5%	47.5%	28.8%	23.7%	19.0%	14.7%	8.8%	5.0%
府中市	260,274	53,564	20.6%	28,214	25,350	52.7%	47.3%	28.8%	23.9%	19.1%	14.9%	8.8%	4.5%
小平市	190,005	42,139	22.2%	21,089	21,050	50.0%	50.0%	27.1%	22.9%	19.9%	16.2%	9.2%	4.6%
東村山市	149,956	38,211	25.5%	19,080	19,131	49.9%	50.1%	26.9%	23.1%	20.4%	16.0%	8.9%	4.8%
習志野市	167,909	37,455	22.3%	20,690	16,765	55.2%	44.8%	29.8%	25.4%	20.7%	13.7%	6.8%	3.6%
草加市	247,034	57,807	23.4%	34,008	23,799	58.8%	41.2%	31.2%	27.7%	20.7%	12.4%	5.4%	2.7%
神奈川県	9,126,214	2,158,157	23.6%	1,174,268	983,889	54.4%	45.6%	29.6%	24.8%	19.3%	13.9%	8.0%	4.4%

(出典)総務省「国勢調査」および国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

大和市の高齢化率は、県平均や近隣市より低い。同規模市のうち府中市は高齢化率が特に低く、東村山市はやや高めだが、他は概ね同程度。

前期・後期高齢者の割合は、県平均と比較するとやや前期高齢者が多い。

近隣市では概ね同程度。同規模市では、大和市よりも後期高齢者の割合が高い市が多い。

# 高齢者世帯等の比較

	平成27年 世帯数	平成27年 高齢者含む 世帯数	平成27年 高齢者独居 世帯	平成27年 高齢者夫婦 世帯	高齢者含む 世帯割合	高齢者夫婦 世帯割合	高齢者独居 世帯割合	高齢者含む 世帯のうち 夫婦割合	高齢者含む 世帯のうち 独居割合
大和市	101,931	35,172	10,287	9,270	34.5%	9.1%	10.1%	26.4%	29.2%
厚木市	95,655	33,341	7,566	8,783	34.9%	9.2%	7.9%	26.3%	22.7%
座間市	55,873	20,005	5,416	5,459	35.8%	9.8%	9.7%	27.3%	27.1%
海老名市	53,368	19,303	4,449	5,606	36.2%	10.5%	8.3%	29.0%	23.0%
綾瀬市	33,308	13,729	2,963	4,046	41.2%	12.1%	8.9%	29.5%	21.6%
伊勢原市	43,033	15,702	3,922	4,199	36.5%	9.8%	9.1%	26.7%	25.0%
藤沢市	179,957	64,911	18,205	17,508	36.1%	9.7%	10.1%	27.0%	28.0%
茅ヶ崎市	97,817	38,646	9,911	11,209	39.5%	11.5%	10.1%	29.0%	25.6%
小田原市	79,007	35,075	9,088	8,084	44.4%	10.2%	11.5%	23.0%	25.9%
府中市	119,435	35,674	11,362	9,031	29.9%	7.6%	9.5%	25.3%	31.8%
小平市	82,768	27,699	8,486	7,568	33.5%	9.1%	10.3%	27.3%	30.6%
東村山市	64,521	24,839	7,760	6,631	38.5%	10.3%	12.0%	26.7%	31.2%
習志野市	72,308	24,669	6,601	6,771	34.1%	9.4%	9.1%	27.4%	26.8%
草加市	105,737	38,190	9,330	9,767	36.1%	9.2%	8.8%	25.6%	24.4%
神奈川県	3,965,190	1,410,766	398,979	373,201	35.6%	9.4%	10.1%	26.5%	28.3%

(出典)総務省「国勢調査」および国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

大和市の「高齢者を含む世帯のうち高齢者夫婦世帯の割合」は、県平均と同程度だが、近隣市と比べると一部の市を除き概ね低く、近隣市で最も高い綾瀬市より3.1ポイント低い。同規模市との比較では概ね同程度。「高齢者を含む世帯のうち独居世帯の割合」は、県平均より高く、近隣市中では最も高い。近隣市で最も低い綾瀬市より8.6ポイント高い。同規模市では、習志野市、草加市は大和市より低いが、他は概ね同程度。

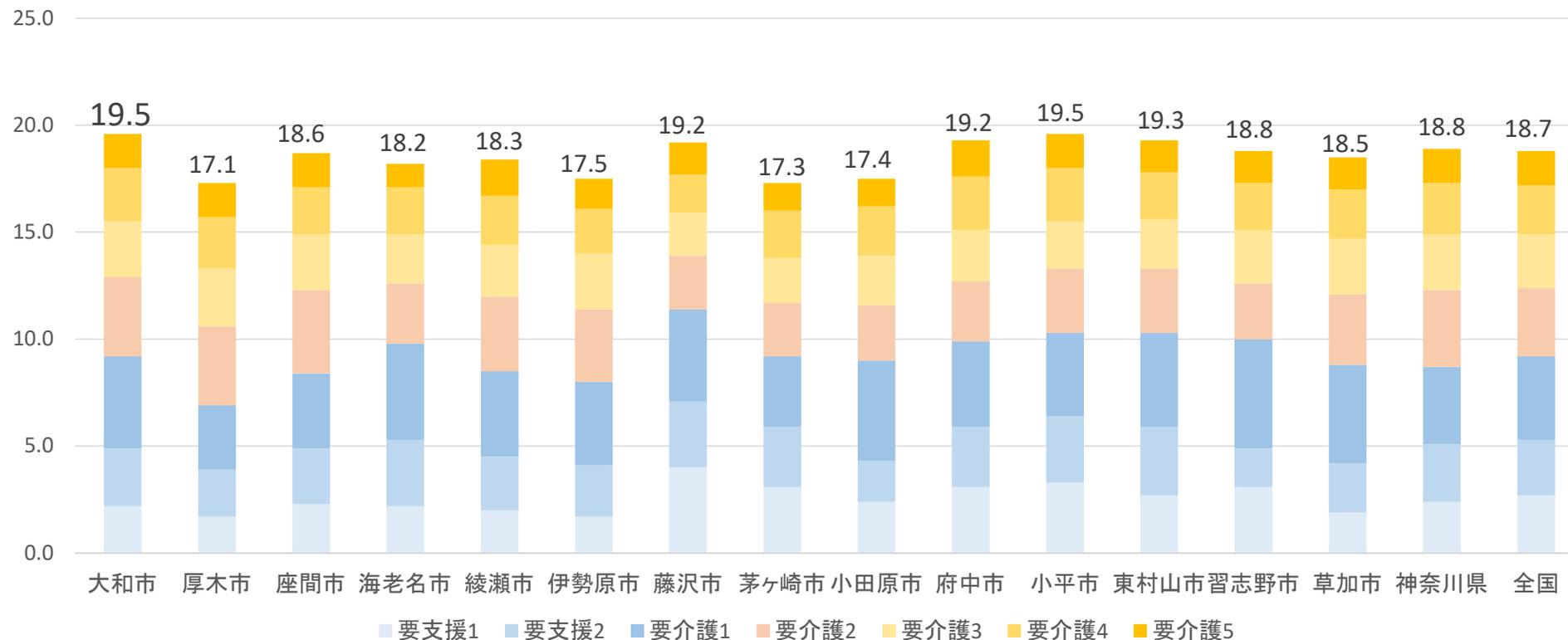
# 人口密度の比較

自治体名	人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/k m <sup>2</sup> )
大和市	232,922	27.1	8,598.1
厚木市	225,714	93.8	2,405.3
座間市	128,737	17.6	7,327.1
海老名市	130,190	26.6	4,896.2
綾瀬市	84,460	22.1	3,814.8
伊勢原市	101,514	55.6	1,827.1
藤沢市	423,894	69.6	6,093.1
茅ヶ崎市	239,348	35.7	6,704.4
小田原市	194,086	113.8	1,705.7
府中市	260,274	29.4	8,843.8
小平市	190,005	20.5	9,264.0
東村山市	149,956	17.1	8,748.9
習志野市	167,909	21.0	8,007.1
草加市	247,034	27.5	8,996.1
神奈川県	9,126,214	2,416.2	3,777.1

大和市の人口密度は、近隣市のなかでも特に高い。

(出典)厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(平成30年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

# 合計調整済み認定率(%)の比較



時点令和2年(2020年)

出典：厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和2年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

大和市の調整済み認定率は、全国・神奈川県平均より高く、近隣市のなかで最も高い。  
同規模市との比較では概ね同程度である。

# 合計調整済み認定率 経年変化の比較

単位 (%)

年度	平成29年	令和元年	令和2年	H29⇒R2
<b>大和市</b>	<b>19.2</b>	<b>19.4</b>	<b>19.5</b>	<b>0.3P</b>
厚木市	16.7	16.2	17.1	0.4P
座間市	18.0	18.2	18.6	0.6P
海老名市	16.7	17.6	18.2	1.5P
綾瀬市	16.6	17.9	18.3	1.7P
伊勢原市	17.2	17.4	17.5	0.3P
藤沢市	18.4	19.0	19.2	0.8P
茅ヶ崎市	16.0	16.8	17.3	1.3P
小田原市	16.5	17.3	17.4	0.9P
府中市	19.1	19.4	19.2	0.1P
小平市	18.9	19.6	19.5	0.6P
東村山市	19.8	19.8	19.3	△ 0.5P
習志野市	17.5	18.5	18.8	1.3P
草加市	17.1	18.2	18.5	1.4P
神奈川県	18.1	18.6	18.8	0.7P
全国	18.0	18.5	18.7	0.7P

大和市の調整済み認定率は、平成29年から令和2年にかけて0.3ポイント上昇している。

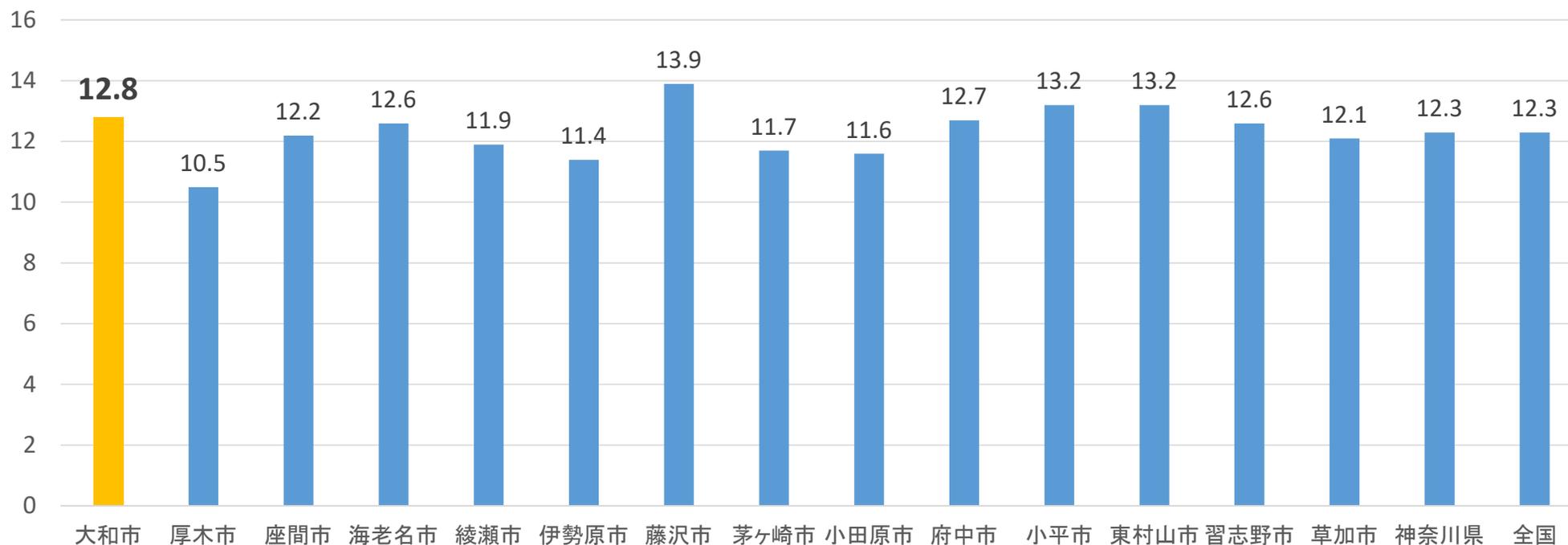
県平均や一部の市を除く近隣市、同規模市より、本市の伸びは小さい傾向である。

一方で、綾瀬市、海老名市、茅ヶ崎市では、伸びが大きくなっている。

(時点) 令和2年(2020年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和2年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

# 調整済み軽度認定率(%)の比較



時点令和2年(2020年)

出典：厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和2年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

大和市の調整済み軽度認定率は、全国・神奈川県平均と比べ高い。  
近隣市との比較では、最も低い厚木市より2.3ポイント高く、最も高い藤沢市より1.1ポイント低い。  
同規模市との比較では、小平市、東村山市が本市より高く、府中市、習志野市が同程度。  
※軽度認定率：要支援1～要介護2までの調整済み認定率の合計

# 調整済み軽度認定率 経年変化の比較

単位 (%)

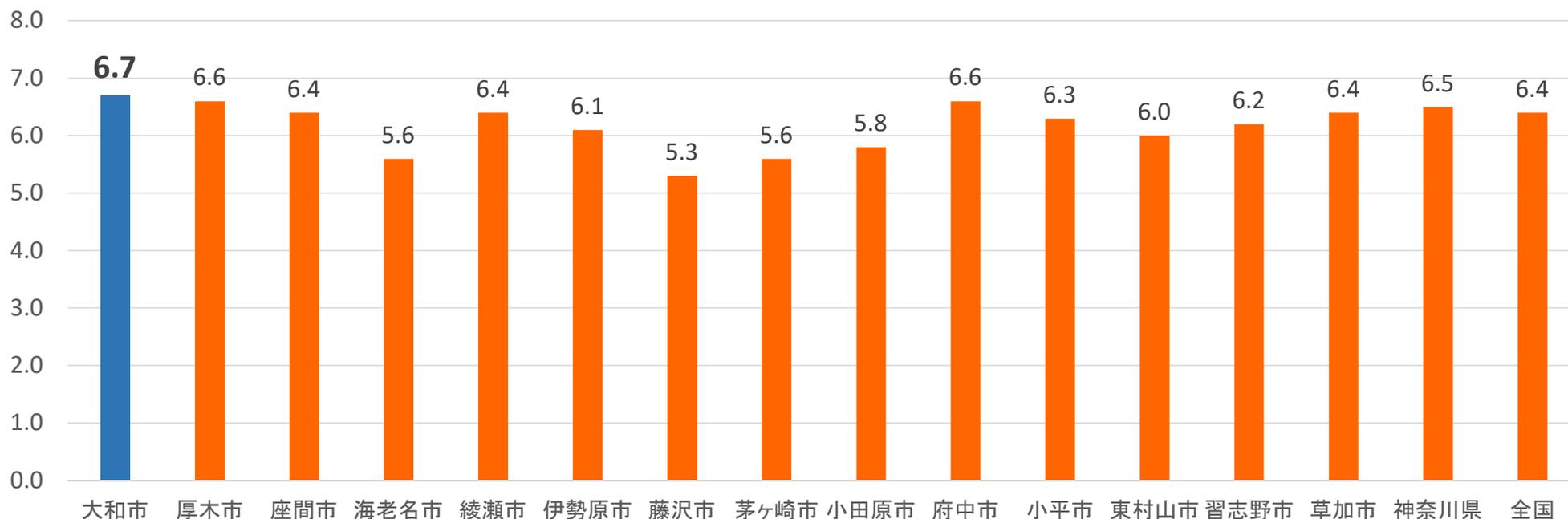
年度	平成29年	令和元年	令和2年	H29⇒R2
<b>大和市</b>	<b>12.7</b>	<b>12.6</b>	<b>12.8</b>	<b>0.1P</b>
厚木市	10.3	9.9	10.5	0.2P
座間市	11.4	11.8	12.2	0.8P
海老名市	11.5	12	12.6	1.1P
綾瀬市	10.5	11.6	11.9	1.4P
伊勢原市	11.2	11	11.4	0.2P
藤沢市	13.3	13.8	13.9	0.6P
茅ヶ崎市	10.7	11.4	11.7	1P
小田原市	10.9	11.8	11.6	0.7P
府中市	12.2	12.7	12.7	0.5P
小平市	13.1	13.6	13.2	0.1P
東村山市	13.5	13.7	13.2	-0.3P
習志野市	11.5	12.4	12.6	1.1P
草加市	11.3	11.8	12.1	0.8P
神奈川県	11.7	12	12.3	0.6P
全国	11.7	12.1	12.3	0.6P

大和市の調整済み軽度認定率は、平成29年から令和2年にかけて0.1ポイント増加している。  
 全国・県平均や近隣市、同規模市を見てみると、概ね増加傾向にある。  
 近隣市では、特に綾瀬市、海老名市、茅ヶ崎市での伸びが大きい。

(時点) 令和2年(2020年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和2年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

# 調整済み重度認定率(%)の比較



時点令和2年(2020年)

出典:厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和2年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

大和市の調整済み重度認定率は、全国・神奈川県平均と比べやや高い。  
近隣市との比較では、大和市が一番高く、最も低い藤沢市より1.4ポイント高い。  
同規模市との比較では、府中市が大和市と同程度。本市の調整済み重度認定率が高いことがわかる。

※重度認定率:要介護3から要介護5までの調整済み認定率の合計

# 調整済み重度認定率 経年変化の比較

単位 (%)

年度	平成29年	令和元年	令和2年	H29⇒R2
<b>大和市</b>	<b>6.5</b>	<b>6.7</b>	<b>6.7</b>	<b>0.2P</b>
厚木市	6.3	6.2	6.6	0.3P
座間市	6.6	6.4	6.4	-0.2P
海老名市	5.2	5.5	5.6	0.4P
綾瀬市	6.1	6.2	6.4	0.3P
伊勢原市	6.1	6.4	6.1	0P
藤沢市	5.2	5.3	5.3	0.1P
茅ヶ崎市	5.2	5.4	5.6	0.4P
小田原市	5.6	5.7	5.8	0.2P
府中市	6.9	6.8	6.6	-0.3P
小平市	5.7	6.0	6.3	0.6P
東村山市	6.4	6.2	6.0	-0.4P
習志野市	6	6.1	6.2	0.2P
草加市	5.8	6.4	6.4	0.6P
神奈川県	6.4	6.5	6.5	0.1P
全国	6.3	6.4	6.4	0.1P

大和市の調整済み軽度認定率は、平成29年から令和2年にかけて0.2ポイント増加している。

県平均や近隣市、同規模市を見てみると、一部の市を除き、概ね増加傾向にある。

(時点) 令和2年(2020年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和2年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

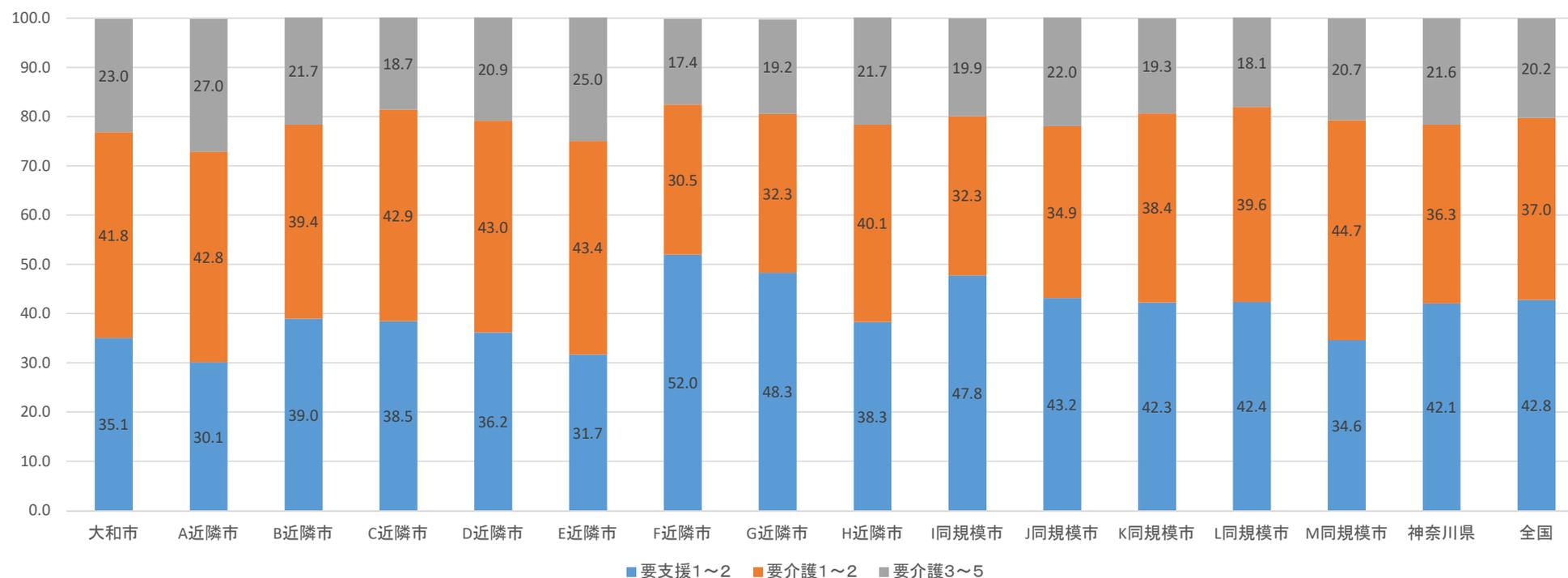
# 調整済み新規認定者分布、 調整済み新規認定平均要介護度の比較

介護度	要支援1 (%)	要支援2 (%)	要介護1 (%)	要介護2 (%)	要介護3 (%)	要介護4 (%)	要介護5 (%)	平均要介護度
<b>大和市</b>	<b>18.6</b>	<b>16.5</b>	<b>27.8</b>	<b>14.0</b>	<b>8.4</b>	<b>8.3</b>	<b>6.3</b>	<b>1.6</b>
A近隣市	17.5	12.6	27.0	15.8	9.6	10.2	7.2	1.8
B近隣市	22.1	16.9	25.5	13.9	6.4	9.0	6.3	1.5
C近隣市	16.9	21.6	29.6	13.3	6.1	8.0	4.6	1.4
D近隣市	18.3	17.9	26.0	17.0	7.5	7.5	5.9	1.6
E近隣市	16.2	15.5	27.9	15.5	10.0	9.5	5.5	1.7
F近隣市	32.0	20.0	22.0	8.5	5.9	6.2	5.3	1.3
G近隣市	27.1	21.2	21.8	10.5	5.4	8.5	5.3	1.4
H近隣市	25.2	13.1	27.9	12.2	7.9	8.7	5.1	1.5
I同規模市	32.2	15.6	23.0	9.3	6.4	8.1	5.4	1.4
J同規模市	25.8	17.4	22.4	12.5	6.4	9.6	6.0	1.5
K同規模市	23.8	18.5	26.7	11.7	6.9	6.6	5.8	1.4
L同規模市	29.0	13.4	28.3	11.3	5.7	7.3	5.1	1.4
M同規模市	20.2	14.4	27.3	17.4	7.1	8.5	5.1	1.6
神奈川県	24.3	17.8	23.8	12.5	7.2	8.3	6.1	1.5
全国	25.9	16.9	24.7	12.3	7.4	7.7	5.1	1.4

(時点) 令和2年(2020年) (出典) 厚生労働省「介護保険総合データベース」(令和3年11月10日時点データにて集計) および厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和2年度のみ「介護保険事業状況報告」月報) および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

大和市の調整済み新規認定者分布は、全国・県平均と比べ要介護1以上の割合が高く、要支援の割合が低い。  
大和市の調整済み新規認定平均要介護度は、全国・県平均よりも高い。

# 調整済み新規要支援・要介護認定者割合の比較



(時点) 令和2年(2020年) (出典) 厚生労働省「介護保険総合データベース」(令和3年11月10日時点データにて集計) および厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和2年度のみ「介護保険事業状況報告」月報) および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

調整済み新規認定者分布について、要支援1~2、要介護1~2、要介護3~5の3区分に分け、比較を行った。

# 調整済み新規要支援・要介護認定者割合の比較

	要支援1～2	要介護1～2	要介護3～5
<b>大和市</b>	<b>35.1</b>	<b>41.8</b>	<b>23.0</b>
A近隣市	30.1	42.8	27.0
B近隣市	39.0	39.4	21.7
C近隣市	38.5	42.9	18.7
D近隣市	36.2	43.0	20.9
E近隣市	31.7	43.4	25.0
F近隣市	52.0	30.5	17.4
G近隣市	48.3	32.3	19.2
H近隣市	38.3	40.1	21.7
I同規模市	47.8	32.3	19.9
J同規模市	43.2	34.9	22.0
K同規模市	42.3	38.4	19.3
L同規模市	42.4	39.6	18.1
M同規模市	34.6	44.7	20.7
神奈川県	42.1	36.3	21.6
全国	42.8	37.0	20.2

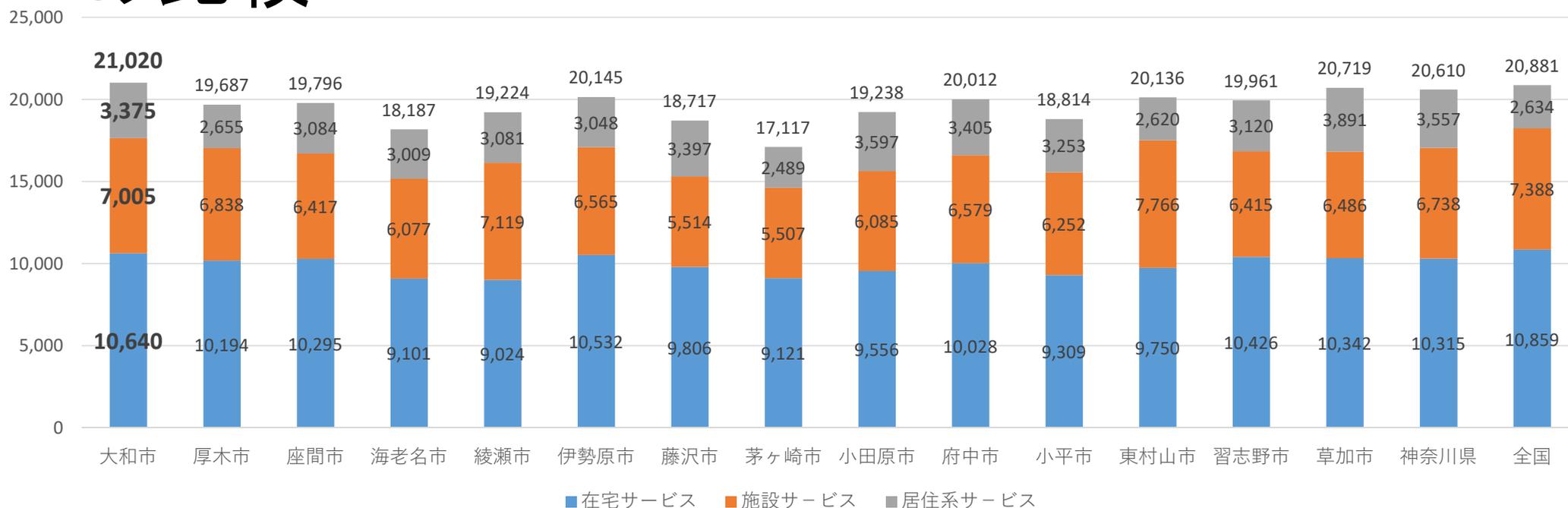
全国・神奈川県平均と比べると、要介護1～2の割合が高いことがわかる。

近隣市では、概ね大和市と同じような傾向であるが、F市、G市については、要支援1～2の割合が特に高い。

同規模市では、本市と比べて要支援1～2の割合が高い市が多いことがわかる。

(時点) 令和2年(2020年) (出典) 厚生労働省「介護保険総合データベース」  
 (令和3年11月10日時点データにて集計) および厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和2年度のみ「介護保険事業状況報告」月報) および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

# 調整済み1号被保険者1人あたり給付月額 の比較



(時点) 令和元年(2019年)

(出典) 「介護保険総合データベース」および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

大和市の調整済み1号被保険者1人あたり給付月額は、全国や神奈川県平均と比べ高い。比較している市の中では最も高い。内訳を見ると、在宅サービスが比較市の中で最も高く、全国平均に近い。また、施設サービス、居住系サービスも他市と比べ高いことがわかる。

# 調整済み1号被保険者1人あたり給付月額 の比較

	在宅サービス	施設サービス	居住系サービス	合計
大和市	10,640	7,005	3,375	21,020
厚木市	10,194	6,838	2,655	19,687
座間市	10,295	6,417	3,084	19,796
海老名市	9,101	6,077	3,009	18,187
綾瀬市	9,024	7,119	3,081	19,224
伊勢原市	10,532	6,565	3,048	20,145
藤沢市	9,806	5,514	3,397	18,717
茅ヶ崎市	9,121	5,507	2,489	17,117
小田原市	9,556	6,085	3,597	19,238
府中市	10,028	6,579	3,405	20,012
小平市	9,309	6,252	3,253	18,814
東村山市	9,750	7,766	2,620	20,136
習志野市	10,426	6,415	3,120	19,961
草加市	10,342	6,486	3,891	20,719
神奈川県	10,315	6,738	3,557	20,610
全国	10,859	7,388	2,634	20,881

大和市では、全てのサービス系において、調整済み1号被保険者1人あたり給付月額が上位にあることがわかる。

(時点) 令和元年(2019年)

(出典) 「介護保険総合データベース」および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

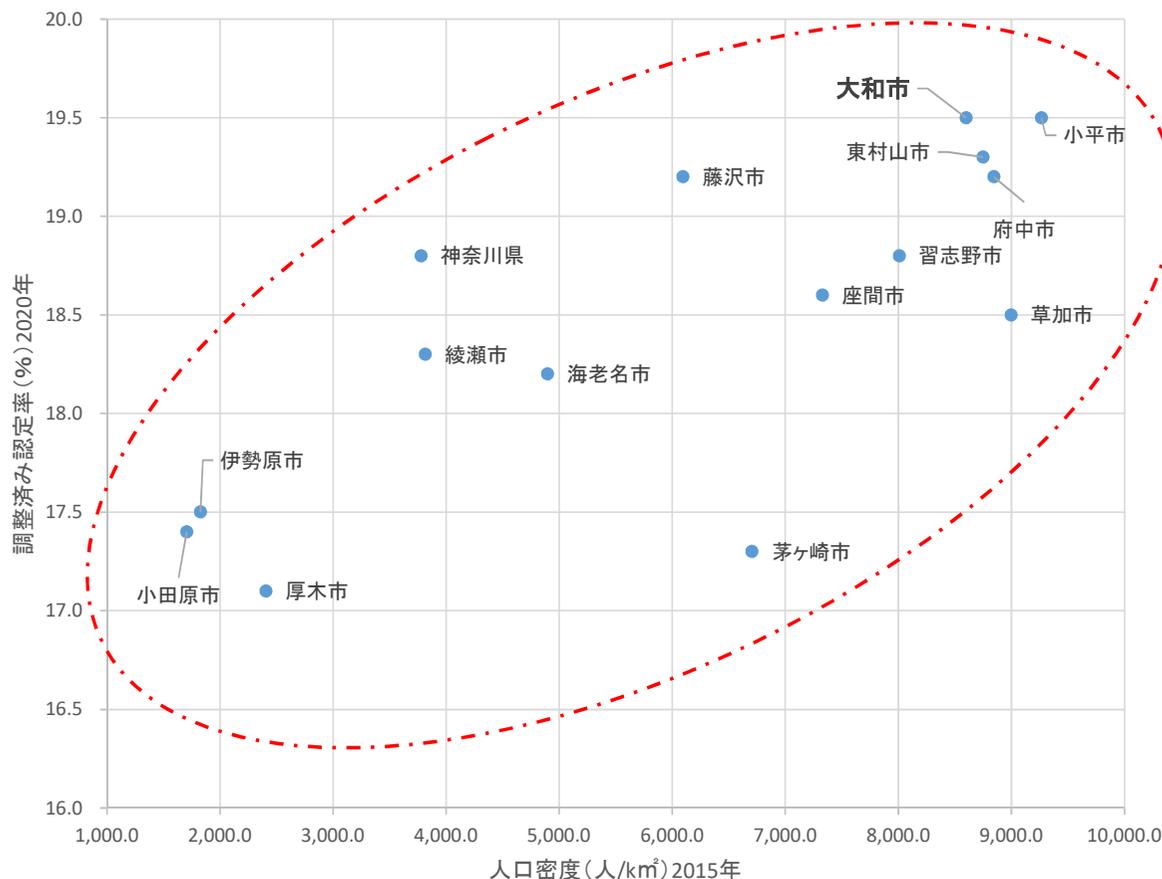
# 調整済み1号被保険者1人あたり給付月額 経年変化

	令和元年				平成27年				令和元年－平成27年			
	在宅	施設	居住系	合計	在宅	施設	居住系	合計	在宅	施設	居住系	合計
大和市	10,640	7,005	3,375	21,020	9,968	6,437	3,104	19,509	672	568	271	1,511
厚木市	10,194	6,838	2,655	19,687	9,522	6,988	2,197	18,707	672	△ 150	458	980
座間市	10,295	6,417	3,084	19,796	10,098	6,512	2,519	19,129	197	△ 95	565	667
海老名市	9,101	6,077	3,009	18,187	8,736	6,459	2,629	17,824	365	△ 382	380	363
綾瀬市	9,024	7,119	3,081	19,224	8,409	7,368	2,331	18,108	615	△ 249	750	1,116
伊勢原市	10,532	6,565	3,048	20,145	9,847	6,499	3,022	19,368	685	66	26	777
藤沢市	9,806	5,514	3,397	18,717	9,842	5,186	3,234	18,262	△ 36	328	163	455
茅ヶ崎市	9,121	5,507	2,489	17,117	8,990	4,887	2,508	16,385	131	620	△ 19	732
小田原市	9,556	6,085	3,597	19,238	9,150	5,859	3,357	18,366	406	226	240	872
府中市	10,028	6,579	3,405	20,012	9,451	6,051	2,877	18,379	577	528	528	1,633
小平市	9,309	6,252	3,253	18,814	9,187	6,523	2,697	18,407	122	△ 271	556	407
東村山市	9,750	7,766	2,620	20,136	9,755	7,763	2,159	19,677	△ 5	3	461	459
習志野市	10,426	6,415	3,120	19,961	9,892	6,138	2,670	18,700	534	277	450	1,261
草加市	10,342	6,486	3,891	20,719	9,725	5,934	2,993	18,652	617	552	898	2,067
神奈川県	10,315	6,738	3,557	20,610	10,035	6,534	3,111	19,680	280	204	446	930
全国	10,859	7,388	2,634	20,881	10,464	6,975	2,296	19,735	395	413	338	1,146

平成27年から令和元年にかけて、全ての市で調整済み1号被保険者1人あたり給付月額が上昇している。本市では、合計で約1500円増えており、全国・神奈川県平均と比べても増え幅が大きく、特に在宅サービス、施設サービスでの増加が大きい。

# 人口密度と合計調整済み認定率の分布

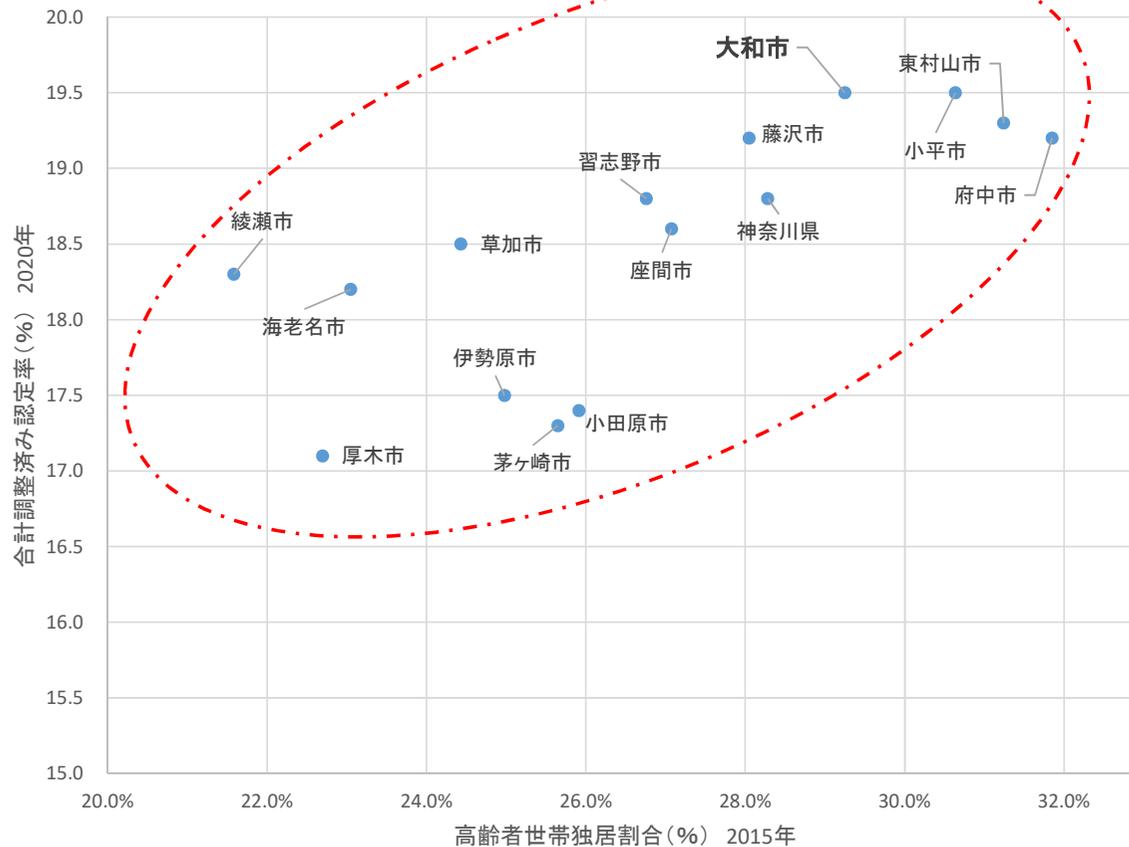
人口密度(人/km<sup>2</sup>)と調整済み認定率(%)の分布



人口密度と調整済み認定率が比例していることがわかる。  
大和市は近隣市と比べ、人口密度が高く、合計調整済み認定率も高い。  
人口密度が同程度の同規模市と比較すると、大和市と同様に合計調整済み認定率が高い傾向があることがわかる。

→大和市の特徴として、人口密度が高いことと、市域が狭く交通の利便性が良いことが挙げられる。その結果、地域包括支援センターの受け持つエリアが狭いため認定申請につながりやすく、また同様に被保険者や介護サービス事業者にとっても効率的に介護サービスを利用しやすい環境となり、合計調整済み認定率が高い要因となっていることが考えられる。

# 高齢者世帯独居割合と合計調整済み認定率の分布

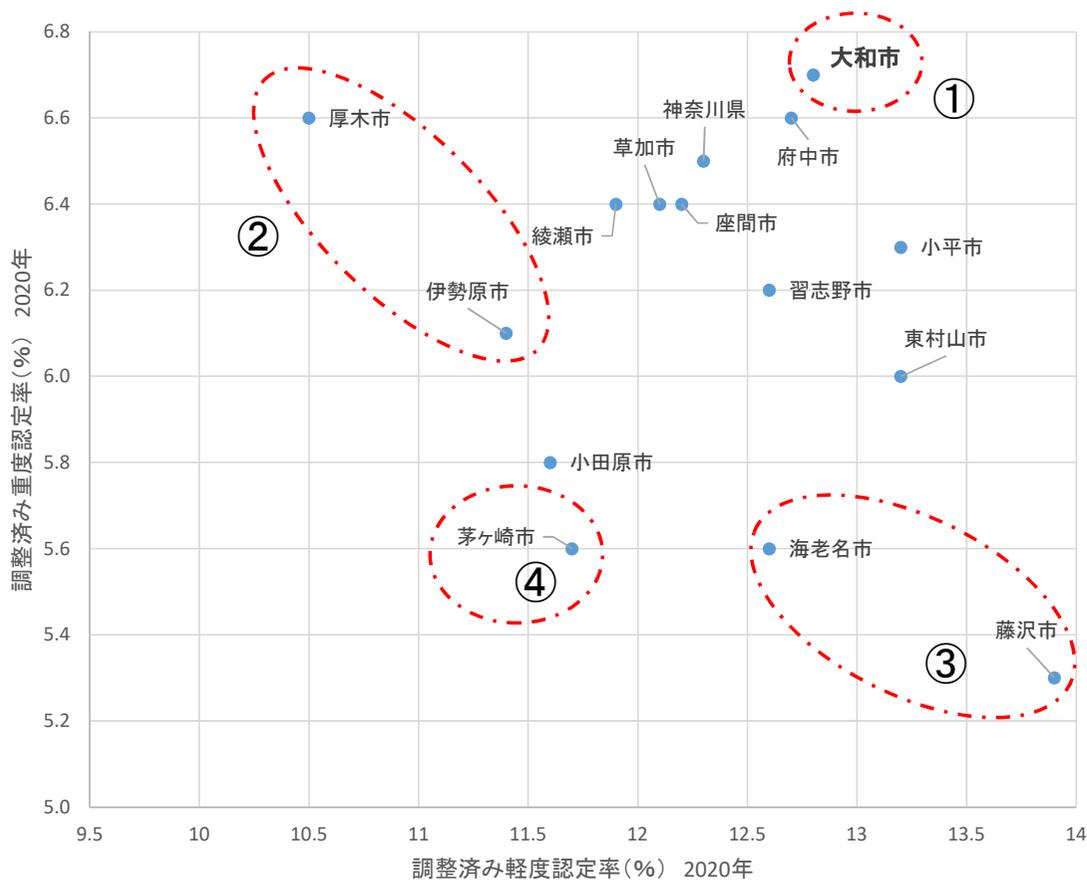


高齢者世帯独居割合と合計調整済み認定率は比例しており、高齢者独居世帯割合が高い市では、合計調整済み認定率が高い。

大和市は高齢者世帯独居割合が高く、合計調整済み認定率も高い。

大和市では、親族等から日々の協力が得られにくい、高齢者独居世帯への取組を強化する必要があると考えられる。

# 調整済み軽度・重度認定率分布



大和市では、軽度・重度とも認定率が高いことがわかる。

## ①大和市

→軽度認定率:高、重度認定率:高

## 近隣市

## ②厚木市、伊勢原市

→軽度認定率:低、重度認定率:中～高

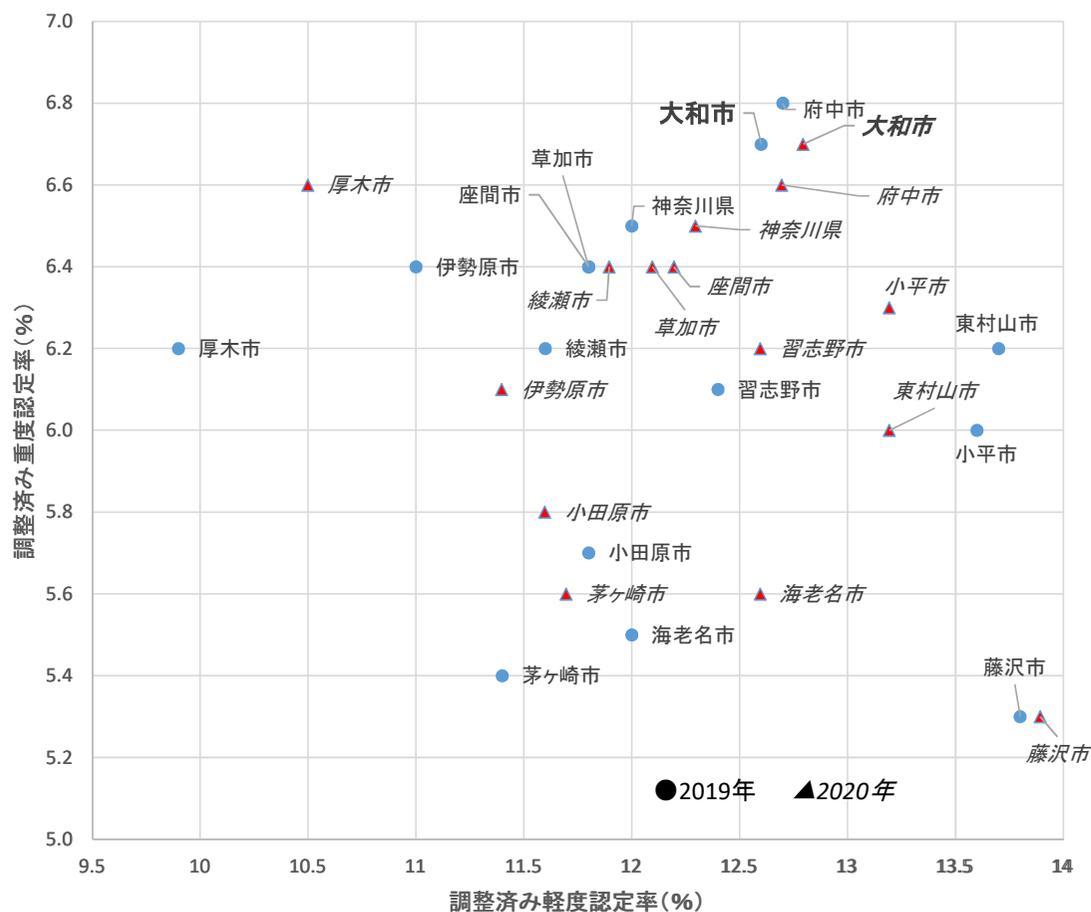
## ③藤沢市、海老名市

→軽度認定率:中～高、重度認定率:低

## ④茅ヶ崎市

→軽度認定率:低、重度認定率:低

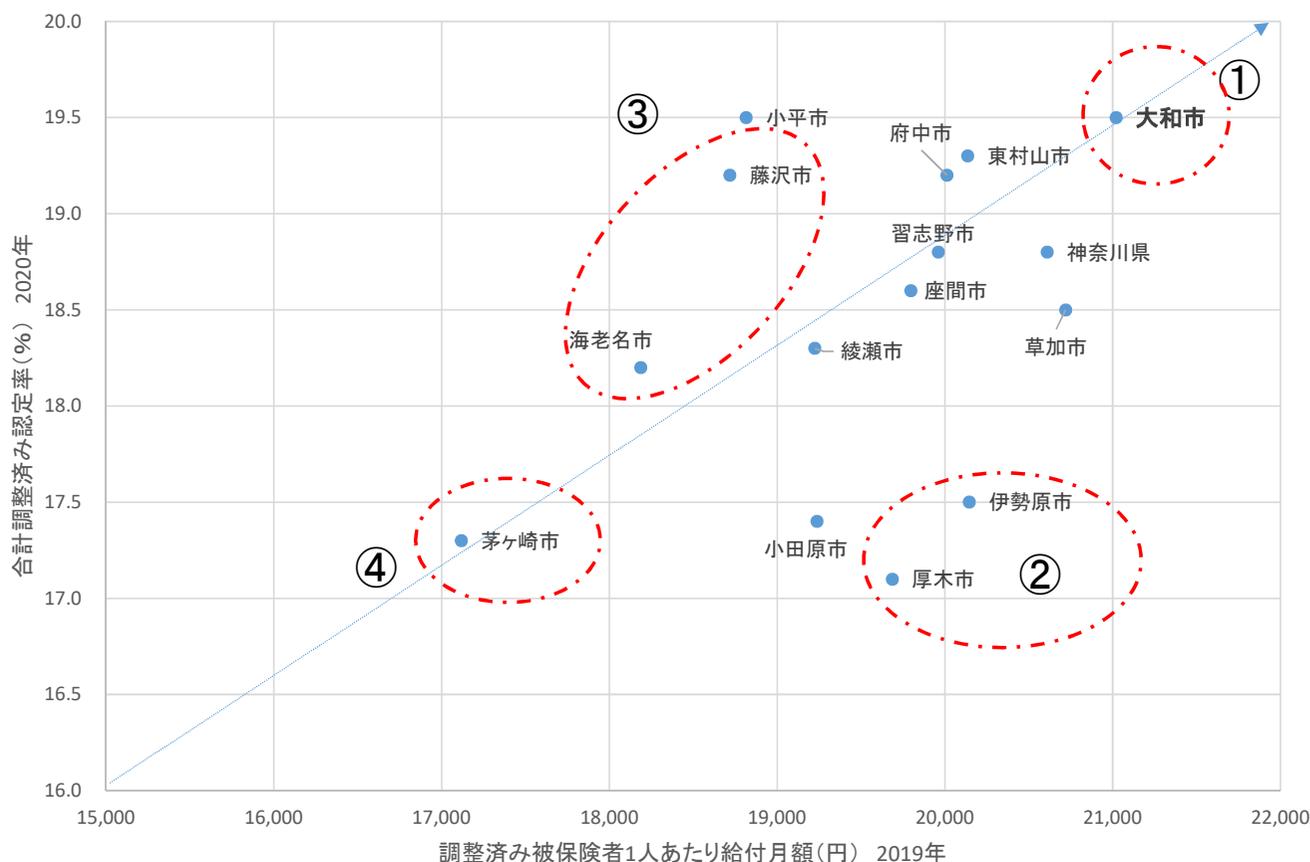
# 調整済み軽度・重度認定率分布（前年との比較）



昨年（2019年）の分布図を重ねて比較をしたところ、近隣市では、多くの市で重度の認定率が上昇している。  
 （伊勢原市では、重度が下がり、軽度が上昇している）

# 調整済み被保険者1人あたりの給付月額と 合計調整済み認定率の分布

調整済み被保険者1人あたりの給付月額と合計調整済み認定率は概ね比例している。



## ①大和市

→給付費:高(軽度:高、重度:高)

## ②厚木市、伊勢原市

→給付費:中(軽度:低、重度:中～高)

## ③藤沢市、海老名市

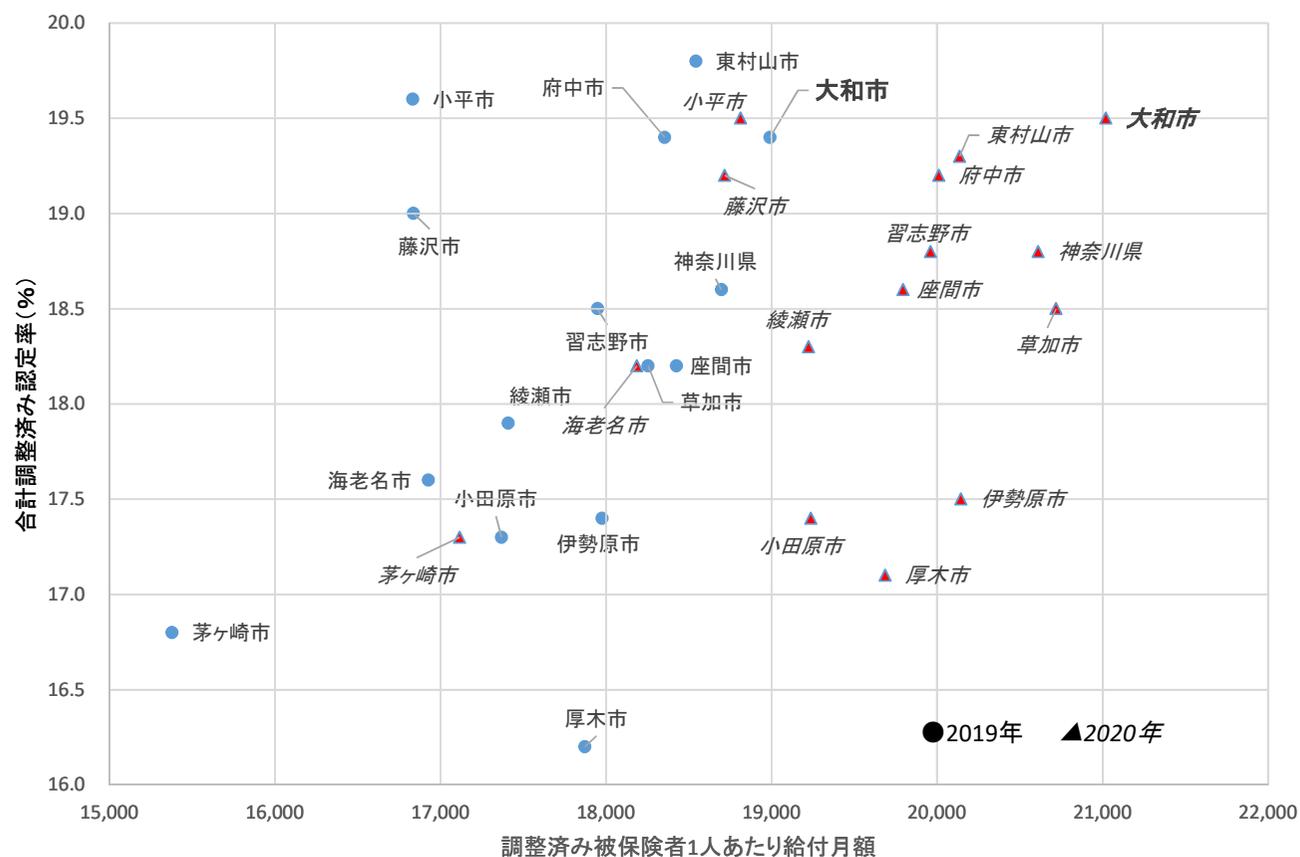
→給付費:低(軽度:中～高、重度:低)

## ④茅ヶ崎市

→給付費:低(軽度:低、重度:低)

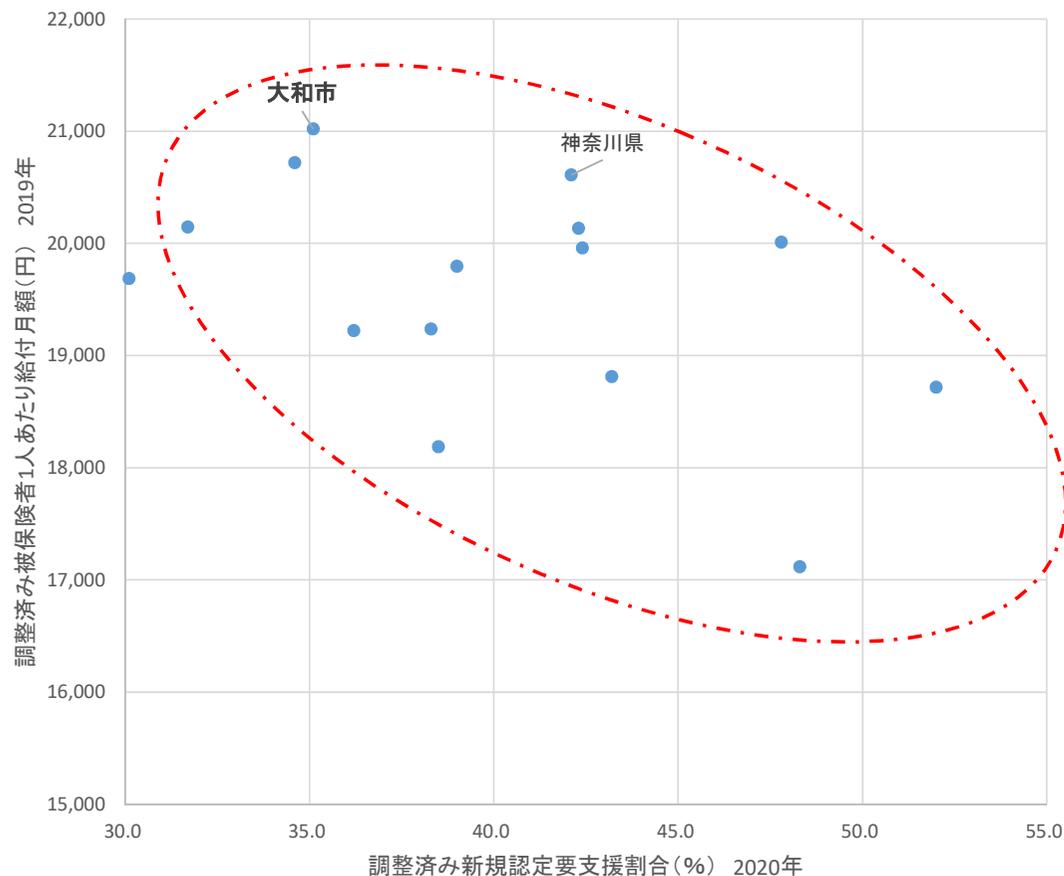
重度認定率が低い市では、調整済み被保険者1人あたりの給付月額が低い。重度認定率が調整済み被保険者1人あたりの給付月額に大きく影響していることがわかる。

# 調整済み被保険者1人あたりの給付月額と合計調整済み認定率の分布（前年との比較）



昨年 of 分布図を重ねて比較をしたところ、近隣市では、全ての市で調整率認定率、調整済み1人あたりの給付月額がともに上昇していることがわかる。

# 調整済み新規認定要支援割合と合計調整済み被保険者1人あたり給付月額



調整済み新規認定要支援割合と合計調整済み被保険者1人あたり給付月額は反比例している。調整済み新規認定要支援割合が高い市では、合計調整済み被保険者1人あたり給付月額が低い。

大和市は調整済み新規認定要支援割合が低く、合計調整済み被保険者1人あたり給付月額が高い。

大和市では、被保険者が軽度な状態のうちに要支援の認定を受け、サービスの利用まで繋げられるような取組が必要である。それにより、被保険者の重度化防止を図り、将来的な合計調整済み被保険者1人あたり給付月額の上昇を防ぐことができると考えられる。

# まとめ

- 大和市は、合計調整済み認定率が高く、特に重度が高い。
- 大和市は、人口密度が高いことや、認定リスクの高い独居高齢者の割合が高い。
- 大和市は、調整済み新規認定要支援割合が低い。
- 大和市の合計調整済み被保険者1人あたり給付月額は特に高い。
- 重度の調整済み認定率と合計調整済み被保険者1人あたりの給付月額は、比例している。
- 調整済み新規認定要支援割合と、合計調整済み被保険者1人あたり給付月額は反比例している。
- 2019年から2020年にかけて、調整済み新規認定平均要介護度が上昇し、合計調整済み被保険者1人あたり給付月額が大きく増えている。

# 結論

☆今後、大和市では団塊の世代が後期高齢者を迎える2025年以降、急激な給付費の増加が見込まれる。将来的な大和市の調整済み被保険者1人あたりの給付月額の伸びを抑えるためには、

- 合計調整済み認定率、特に重度の調整済み認定率を下げる。
- 新規認定者の要支援割合を高めていく。  
ための取組が必要であると考える。

☆そのために、大和市では引き続き次の取組を強化していく必要がある。

- 介護予防の推進
- 要支援・要介護認定リスクの高い独居高齢者への取組
- 介護度の重度化防止の取組。特に、軽度のうちに要支援認定を取得し、重度化防止に向けたサービス利用の促進